

## 02s 主体的な人を育てるビジネスコーチング研修

## 1. 研修要領

|          |   |
|----------|---|
| ・募集定員    | 16名   |
| ・研修会場    | 石井会計事務所（住所：〒850-0056長崎市恵美須町7番21号恵美須マンション2F） |
| ・講師      | 福岡ソフトウェアセンター（FSC）講師：深月 敬子                   |
| ・開催月日    | 2025年7月2日（水）・7月3日（木）                        |
| ・実施時間・日数 | 9:30～17:30（7時間/日）・2日間（14時間）                 |
| ・受講料（税別） | 94,560円                                     |
| ・教材料（税別） | 6,000円                                      |

## 2. 対象者

- ・部下・後輩を指導する立場にあり、部下・後輩の能力や主体性を引き出すスキルを習得したい方
- ・部下のスキル指導やモチベーションアップに課題を感じている方
- ・メンバーの考えを引き出し、新しい価値を生み出したいと考えている方

## 3. カリキュラムの概要

多様なメンバーを抱えるリーダーには、一人ひとりの成長を支援する人材育成手法としてビジネスコーチングが求められています。自主的・主体的な部下育成のために、部下の考えと行動を引き出す1on1や面談、職場指導スキルを身につけます。対話や質問を通じて相手に気づきを促し、目標設定を共有します。職場では自発的な行動に向かう支援や計画調整などのフォローができ、それにより全体の組織力も高まります。また、個人の指導のためには、部下の行動特性や成熟度に応じた支援を考慮する必要があります。具体的・実践的のワークでリーダーシップの発揮を目指します。

## 4. カリキュラムの詳細

2日間（14時間）

|      | 科目                 | 時間     | 科目の内容  |
|------|--------------------|--------|--|
| 7月2日 | 1. 職場の人材育成の必要性     | 2.0h   | ・組織変革に必要な人の成長<br>・社員が当事者意識と主体性をもつには<br>・望ましいリーダーシップを考えよう<br>・【ケース問題】困った部下への対応  |
|      | 2. 部下指導の基本スキル      | 2.0h   | ・組織目標や目的の伝達ができているか<br>・相手に伝わるわかりやすい指示<br>・主体性を高める対話の重要性<br>・【ロールプレイ】簡潔で具体的な指示  |
|      | 3. 個人面談の基礎スキル      | 3.0h   | ・話しやすい雰囲気づくりと心理的安全性<br>・傾聴スキル（うなずき、相槌、承認、繰り返し、要約、質問）<br>・承認スキル（存在・変化・行動・プロセス）・メッセージ<br>・思考を促す質問（未来的・肯定的・オープン・クローズ）<br>・【演習】傾聴練習・承認練習 |
| 7月3日 | 4. コーチングの基本プロセス    | 3.5h   | ・コーチングのプロセスGROWモデル<br>・主体的な目標達成フレームワーク<br>・「SMARTモデル」に沿った目標設定1on1<br>・【ロールプレイ】部下・後輩の目標設定と共有<br>・【ケース問題】目標が小さい、組織方針と合わない、目標がない        |
|      | 5. 対話によって柔軟な計画と実行へ | 3.0h   | ・メンバーの成熟度やニーズを知る<br>・指導と支援を使い分ける状況対応リーダーシップ<br>・計画への落とし込み（定量的・定性的）<br>・期限と実行度を確認する問い<br>・やる気とスキルを伸ばすフィードバック<br>・【ロールプレイ】進捗面接で達成を支援する |
|      | 6. まとめ             | 0.5h   | ・リーダーとして改善すること<br>・組織の人材育成計画<br>・振り返り、今後の課題  |
|      | 計                  | 14.0Hr |  |

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

## 5. 使用教材

オリジナルテキスト

## 6. 到達目標

1. メンバーが主体性をもって成果を上げ目標を達成するチームづくりを目指す
2. コーチングの効果的な3つの手法（傾聴・承認・質問）を習得する
3. メンバーの目標達成に向けて指導や支援ができるようになる
4. メンバーの成熟度によって、リーダーとしての振る舞いを変える技術が身につく
5. 具体的なロールプレイングを通して、1on1スキルが身につく

## 7. ITSSレベル

-